

Be Happy

あなたの輝きから職場の輝きへ



素敵だね あなたの一步 その勇氣

彦根市

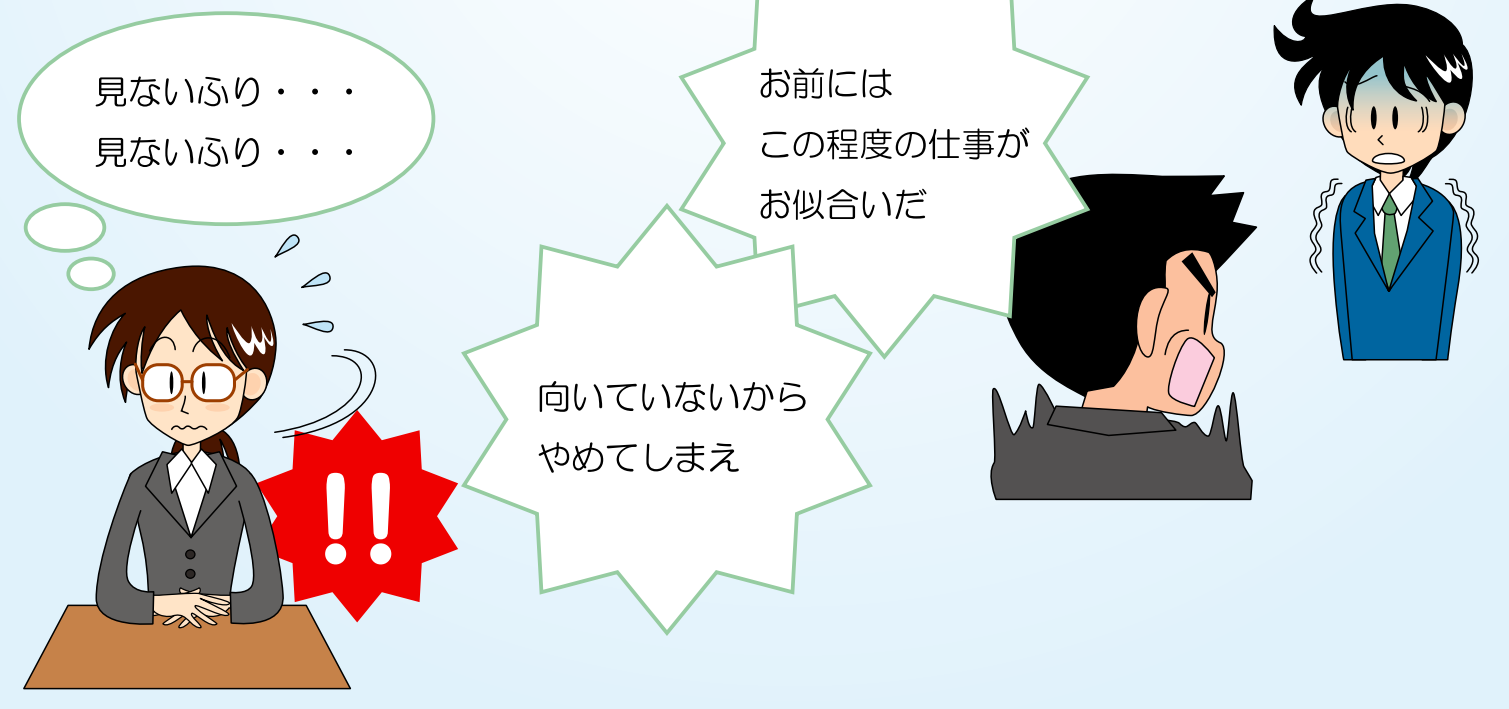
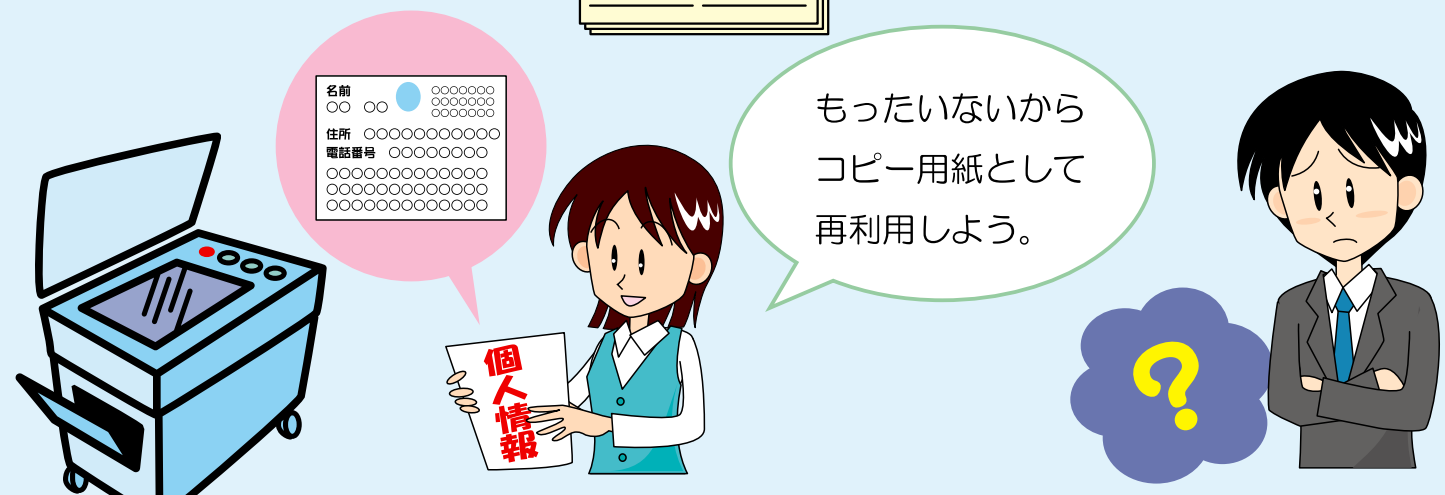
vol.4

企業活動の中で

職場での会話や発言の中で



企業にとって
おかしいと 感じる
ことは ないですか
あなたにとって



何がおかしいのでしょうか？ → 3ページへ

何がおかしいのでしょうか？ → 5ページへ

企業の社会的責任（CSR）と人権

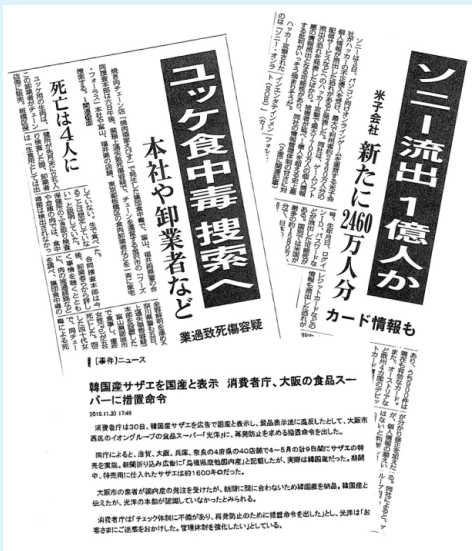
おかしいのはココ！

「お客さまの安全より企業の利益重視の姿勢」

「個人情報データの不適正な収集や管理」

法令の遵守や透明性、説明責任といった言葉で“企業の社会的責任（CSR）”が問われる時代です。
（※CSRとは、Corporate Social Responsibility の略）

どうしておかしいの？



企業は、本来は営利を目的とする組織です。とはいえ、企業が利益の追求を行うあまり、もし、法令に違反したり、お客さまの安全を無視すればどうなるでしょうか。

実際に、顧客情報の流出や食品表示の偽装などを行っていた企業は、社会からの信頼を失うだけでなく、場合によっては企業として存続できなくなっています。

企業として生産性の向上や競争力の強化を図るとともに、いまの企業にはCSRに取り組むことが必要なのです。

CSRの基本は環境や人権への配慮です。いま、地球環境問題といった「エコ活動」への注目が高まっています。同じように、従業員や取引先、お客さまなど、企業活動に関わる様々な人々の「基本的人権の尊重」に企業として取り組むことが、社会からの信頼を得ると同時に、企業の発展にもつながるのです。

注目されています！ 企業市民としての地域貢献活動

法令の遵守などに取り組むことは、企業にとって当たり前。多くの企業では、様々な地域貢献活動を行っています。

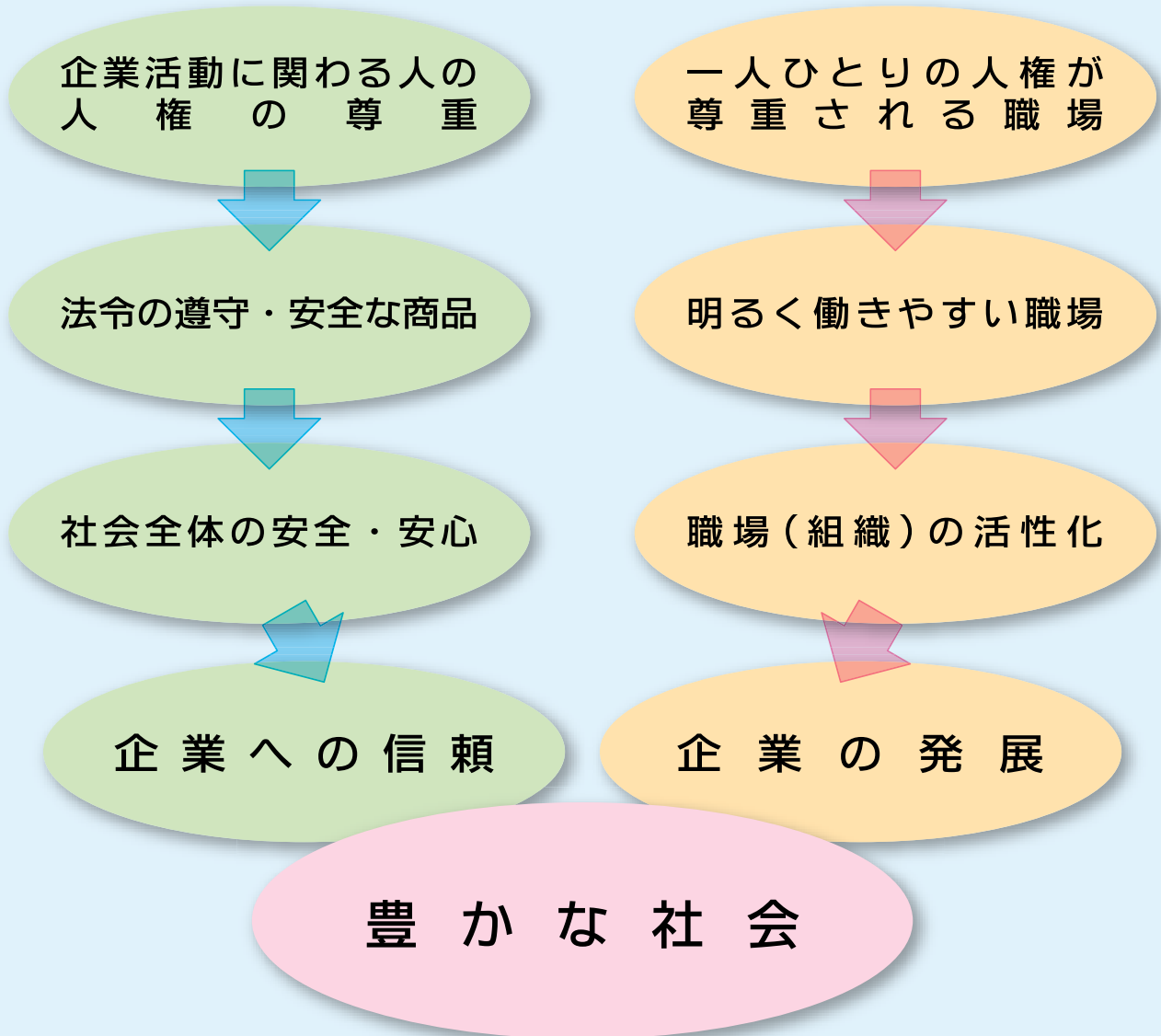


本年3月の東日本大震災以降、被災地へのボランティアや技術者の派遣、支援物資の提供や義援金の受付など、社会における企業への期待は高まっています！

「人権を尊重する企業」に

取引先やお客さまなど、企業活動には様々な人が関わっています。それぞれが互いの人権を守り、社会全体の安全や安心に向けて取り組むことで、社会は豊かになり、企業への信頼は高まります。

また、従業員の人権が守られ、やりがいをもって生き生きと働ける職場であれば、企業活動は活性化し、社会全体の活力も高まります。

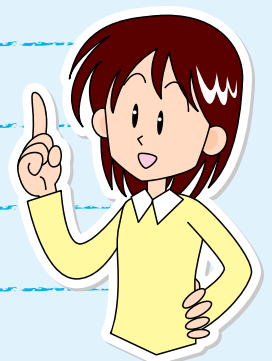


考えてみましょう！

もし、自社が「従業員の人権」「取引先の人権」「お客さまの人権」を無視した活動を行っていたとしたら、社会からどのように思われ、会社はどうなってしまうでしょうか。

一方で、自社で取り組むことができる地域貢献活動には、どのようなものがあるでしょうか。

何が本当に「企業のため」なのか、そのために自分に何ができるのか、考えてみましょう。



一人ひとりが輝く明るい職場づくり

おかしいのはココ！

「決めつけや思い込みの発言」「人格を否定する発言」 「職場でのいじめや陰湿なうわさ」

相手の人権を侵す「差別的な発言」であることに気づき、差別をなくす行動に移すことが必要です。

どうしておかしいの？

これらの発言は、正しい知識や情報を持たずに、勝手な決めつけや思い込みによるものであり、相手の人権を尊重しない行為です。

このような発言では、本人が「差別した」という意識を持っておらず、「差別をしている」ことに気づいていない場合が多くあります。また、このような発言が繰り返され、放置されることで、差別が助長されたり、新たな差別を生んだりすることが考えられます。

職場に限らず、家庭や地域などの様々な場面で、部落差別や、女性・子ども・高齢者・障がい者・外国人といった人々の人権を侵すような発言に接したとき、どうすればよいのでしょうか。



差別的な発言

差別であることへの
気づき

差別をなくすための
行動へ

差別的な発言に対しては、発言した本人が差別であることへ気づくことはもちろんですが、周りにいる人が気づき、差別をなくすために行動することが大切です。

職場にいる一人ひとりがそれぞれに人権感覚を高めておくことで、誰かが「おかしい」と気づけば、差別を無くすための行動へとつながっていきます。そして、気づきから行動へとつなげていくために、企業として「おかしいことがあれば話し合う」職場環境をつくるのが大切です。

職場内の人権感覚を高めるために・・・

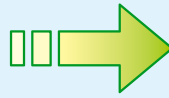
市内のある事業所では

- ・朝礼の時間（5～10分程度）を活用
幹部職員が新聞記事等を使って、部署ごとに事例を発表
- ・全員が集まる人権研修も年1回実施



こんな疑問を持っていませんか？

「同和問題」を取り上げずに、
そっとしておけば・・・



差別は自然になくなる??

本当にそうでしょうか

高校の友人に、
自分の住所を打ち明けられない。
とても勇気がいることだから・・・

いまの彼氏とは結婚はしない。
結婚は本人同士の合意というけれど、
彼の親が反対すると思う・・・

会社の採用面接で
「親の職業」や
「住んでいる地域」
を聞かれた。

なぜ、そんなことを聞くんだろ
う。採用に何か関係があるんだ
ろうか。
なんだか、不安になった・・・



部落差別とは

ただそこに生まれ、住んでいるだけで、差別を受けるとい
うものです。

就職差別や結婚差別など、様々な形で差別は残っています。
そのことを私たちが見ようとしないだけなのかもしれません。

「公正な採用」のために

あなたの住んでいる地域は、どんな環境ですか

選考段階で、現住所の環境について詳細に聞くことは、
身元調査に利用する目的と考えられます。

あなたの家族の職業は何ですか

応募者の能力や適性に関係ないことを採否の判断基準に
持ち込むことになり、個人としての人権を尊重しない考
え方です。

あなたはどんな本を愛読していますか

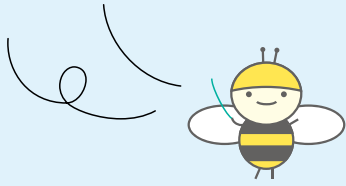
思想や信教の自由に関することで、これらを採用選考の
場に持ち込むことは、応募者の基本的人権を侵すこと
になります。

左のような質問は、就職差別につながる
“不適正な質問”です。
採用時に「あれ、おかしいのでは？」
と感じた質問がなかったか、自分自身
や周りの人について、確認してみま
しょう。

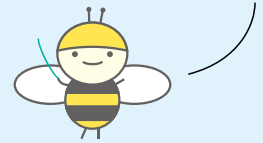
“不適正な質問”は、ほかにもありま
す。人権尊重の視点で考えることが、
就職差別をなくし、明るい職場、企業
の発展、豊かな社会へとつながってい
くのです。

そのとき

わたしは、どの立場？



蜂は、わたし。
花は、差別をめぐる
いろいろな立場を示しています。



私たちの周りには、さまざまな人権問題があります。私たちは、このさまざまな人権問題とのかかわりの中で、周囲の声や状況などにより、「差別を眺めている」だけになってしまったり、「差別に同調」したりしてしまうかもしれません。

また、自分自身の思い込みや偏見により、何気なく言ったひと言で差別をしてしまうかもしれません。人は差別をされたり、差別をしたり、差別をあおったり、そのときどきや問題ごとに、いろいろな立場になることがあります。

しかし、どの立場になったとしても、職場や家庭や地域など、あらゆる場での学びあい・気づきあいを通して、差別と関わりのあることに気づき、差別をなくすために一歩を踏み出せる人になりたいものです。そして、行動する一人ひとりの思いが、差別のないまちづくりにつながるでしょう。

彦根市では、毎年7月から12月に、「はーとふるメッセージ」を募集しています。市内の事業所でも、ポスター・標語・作文の応募をとおして、人権啓発に取り組んでいただいています。
みなさんの職場でも、ぜひご参加ください。

表紙の作品・・・はーとふるメッセージ2010入賞作品
(ポスター) 西中学校3年(当時) 杉本 真歩さん (標語) ㈱ブリヂストン彦根工場 山田 保之さん

発行：彦根市市民環境部 人権政策課 彦根市元町4番2号
Tel: 0749-30-6115 Fax: 0749-24-8577 E-Mail: jinken@ma.city.hikone.shiga.jp

この冊子は26,000部作成し、1部あたりの印刷単価は8円(1円未満切捨)です。
ただし、原稿作成等に係る職員の人件費は含んでおりません。

再生紙を使用しています。(2011年6月発行)